2021年2月10日 JAPIA 環境対応委員会 製品環境部会 物質調査システム分科会 IMDS 渉外対応分科会

【重要】IMDSとJAPIA シートのデータ移行に関するご協力のお願い

平素は、製品含有化学物質調査に関し、ご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。 表題の件、以下の通りお願いいたします。

ご承知の通り、2021年5月19日(に延期になりました)IMDS リリース13.0以降は、VDA 材料分類コードの8.x が使用できなくなるため、サプライチェーン各社でこの対応を推進されていると思います。 去る1月6日、JAPIAシートは、先行して8.x を廃止し、サプライチェーン上のデータ移行を促す臨時改正を実施しましたが、電子部品中のガラス材料の表記に関するケースで、想定を超えた影響が出始めたため、今回若干の暫定処置を実施すると共に、以下のとおり、ご協力をお願いいたします。

1. 背景

ガラス材料の表記方法は、10年ほど前から、旧来の原材料化合物での表記を改め、ガラス成分と申告対象物質(金属元素)とするルールに変更されており、

それと併せて、金属元素の含有率が最大であっても、<u>金属材料としてではなく母材であるガラスの材料と</u> して表記することになっています。

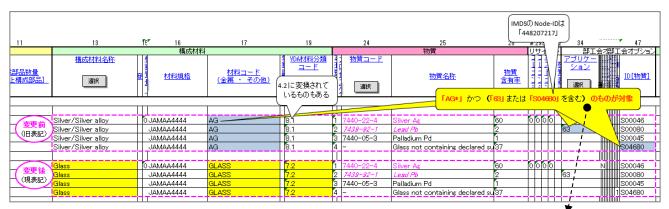
しかしながら、一部の電子部品メーカから旧表記(本来のガラス材料(VDA:7.2)としてではなく、電子部品材料としての銀材料(VDA:8.1、今回廃止される)として表記)のデータが最近まで作成・報告されており、また、それらのデータを組み込んだ電子系のユニット部品なども含めると、現在、相当な量の当該データがサプライチェーン上に流通し、各社内のデータベースに蓄積されています。

これらの多くに ELV 適用除外用途(ガラス)で鉛を含有するアプリケーションコード(63)が付いているため、(VDA:8.1)⇒(VDA:4.2 その他の特殊金属、銀などを含む)に置換すると(現 JAPIA シートでは本来用途として自動変換される)、データ相互の不整合(VDA:4.2 と(63))によるエラーが発生してしまいます。

今回、JAPIA シートでこの問題が先行して顕在化しましたが、5月19日以降は、IMDSへの新規データアップロード時に同様の現象が発生することになり、BtoBの問合せ工数増や、納期遅延など大きな問題となることが強く懸念されます。

2. サプライチェーン各社で実施していただきたいこと

- ・4月末をメドとして、客先報告データに下図の旧表記を含まない様、社内体制整備をお願いします (物質調査の伝達経路が IMDS 上で完結しているサプライチェーンにおいては、承認済データは 引き続き利用可能です。対応の要否については、必要に応じて BtoB でご相談ください) (問合せ・再調査・再報告は、サプライチェーンの混乱を招かない必要最低限とする様、BtoB で ご調整ください)
- ・4月末までは、旧表記を含むデータを受領拒否しない様、お願いします (必要に応じて、双方合意の上、社内でデータを修正してください)



「JAMAA4444 AG*」には、本来の銀材料も含まれるため、それらと区別するための判別条件です

3. JAPIA シートでの暫定処置

去る1月6日に外部リストのみ差し替えを行ないましたが、本日2月10日に再度外部リストのみ差し替え、以下2点のみ、実施を保留します。この暫定処置は、2021年6月30日までとし、7月1日改正版において保留を解除します。

・以下の材料の廃止を保留し、利用可能としました

構成材料名称 材料規格 材料コード VDA 材料分類コード

Silver/Silver alloy JAMAA4444 AG@ 8.1

・以下の自動変換処理を保留し、変換されない様にしました

材料規格 材料コード VDA 材料分類コード

JAMAA4444 AG@ 8.1.4.

本件に関するご不明点は、以下からお尋ねください。

https://www.japia.or.jp/datasheet20200117b/